

# 見光まちづくり学科

令和4年4月開設

# 地域を見つめ、地域を動かす

「観光まちづくり学部 観光まちづくり学科」は、「観光学」という幅広い学問領域において、

地域に軸足を置いた「まちづくり」の実践を目指す学科です。

少子高齢化、人口減少の時代を迎え、地域の存続が危ぶまれる近年の日本では、いかにして地域を維持し、

次世代へと引き継いでいけるかが喫緊の課題とされます。

このような課題を解決するため、観光や交流に関する計画を立案し、政策提言を行い、

地域経済の活性化へと導く施策を提案できる企画力を持った人材がいま、求められています。

そこで、本学科では地域に生きる人々を中心とした「社会」を基盤に、地域をとりまく自然や歴史、文化など、

資源としての「環境」と地域を支える「経済」のバランスの取れた発展を促し、

持続可能な地域の実現に貢献できる人材を育てていきます。



もっと日本を。もっと世界へ。





■文学部:日本文学科/中国文学科/外国語文化学科/史学科/哲学科 ■神道文化学部:神道文化学科

■法学部:法律学科(法律専門職専攻·法律専攻·政治専攻)

■経済学部:経済学科/経営学科

横浜たまプラーザキャンパス ■人間開発学部:初等教育学科/健康体育学科/子ども支援学科

■観光まちづくり学部:観光まちづくり学科

## 観光まちづくりを支える幅広い学び

これからの「観光まちづくり」では、統計やデータを活用しながら、自然、歴史や文化、公共政策や行財政、都市計画、事業マネジメントなど、多様な視点で観光を捉える力が必要です。まだ誰も気づいていない地域の魅力を掘り起こし、持続可能な魅力あふれるまちづくりを実現するために、様々な分野の学問を実践的に学びます。

# グローバル

情報化が進み、世界と地域の距離はどんどん近づいています。地域の魅力を広く世界へ伝えていく方策を国内外の先進地を参照しながら学びます。

科目例(予定): 「グローバリゼーション論」 「世界の観光政策」他

# 町並み

古い建物やまちの構造には、地域の記憶と歴史が刻まれています。それらを探り、現代に活かし、 来訪者や観光客を惹きつけるまちを創るために 必要な幅広い知識と考え方を学びます。

科目例(予定):「都市建築史」

「リノベーション論」他

#### 環境デザイン

豊かな自然や公園、町並み、公共施設など、幅広く「空間」をデザインするのが環境デザインです。 まちの新たな顔となる「風景づくり」を学びます。

科目例(予定): 「パブリックデザイン(地域と公共空間)」 「風景計画論」他

#### 伝統文化

みこしを担いだり、盆踊りを踊ったりと、地域の慣習として行われる祭礼行事をはじめ、冠婚葬祭や年祝いなど、その地域ならではの伝統文化を学びます。

科目例(予定):「民俗学概論」

「地域文化創造論」他

# マーケティング

ご当地グルメやお土産は旅の楽しみのひとつです。これからを生み出すマーケティングを観光業の事例とともに学びます。

科目例(予定): 「観光マーケティング」 「地域ブランディング論」他

# 都市計画

持続性ある地域の実現のため、暮らす人や訪れる人にとって快適で利便性の高いまちへとリデザインすることが求められています。都市工学の視点からそのための手法や技術を学びます。

科目例(予定): 「国土·都市計画論」 「交通計画」他

# 社会学

社会が人々の行動や思考に与える影響を理解し、 それにより人々がどのように反応し、社会を創り上 げてきたかを学びます。

科目例(予定):「社会学概論」

「地域と環境の社会学」他

#### 歴史

文化財などから歴史を辿ることは、埋もれてしまった地域本来の個性を掘り起こすことにつながります。再発見したまちの魅力を発信し、そのまちらしさを深く掘り下げていきます。

科目例(予定):「地域遺産論」

「博物館概論」他

# 観光マネジメント

観光振興のためには、宿泊業・運輸業、行政など との幅広い連携が必要です。観光マネジメントの 視点から学び、地域の真の魅力を引き出します。

科目例(予定):「観光政策・計画論」 「観光地経営論」他

#### データサイエンス

地域の本当の姿を理解するためには、客観的データから事実を掘り出す分析力が不可欠です。ビックデータの解析から説得力のある地域の将来像を提案し、実行します。

**科目例(予定)**:「プログラミングと数学基礎」 「データサイエンス」他

#### 調査

地域の特性や課題を客観的に把握するためには、 実際に現場に出て情報収拾する必要があり、その 際に適切な調査手法や技法を学びます。

科目例(予定): 「社会調査法入門」 「質的調査法」他



- 田園回帰論 --嵩(かさみ) 和雄 准教授



都市から農山漁村への移住という物理的移動だけでなく、都市住民が地方へ向けるまなざしの変化を含め「田園回帰」と呼ばれるようになりました。一方、日本全体の人口減を受けるかたちで始まった地方創生施策の中で、都会からの移住者獲得に動く自治体が増えています。講義ではこうした田園回帰の動きと、そのプロセスとしての「関係人口」と呼ばれる多様な関わり方や関わりしろづくりについても全国の取り組みから学び、特に「なりわい」「住まい」「コミュニティ」という具体的な課題を通じ、物事を多面的に考える力を養っていきます。



まちづくりと観光 ー石山 千代 准教授



観光まちづくり学部での4年間の学びの見取り図を得る1年次の必修科目です。まずは、「まちづくり」と「観光」の基本的な理論と最新動向、両者の要となる「地域の個性」を見出すための基本的な考え方と見方にふれます。その後、都市観光地、町並み観光地、温泉地等の事例をもとに、それぞれの地域が抱える課題をふまえながら、いかに「地域の個性」を守り・磨いていくか、基本的な道筋と方法の枠組みを学びます。そして、この過程に関わる多様な主体の存在を具体的に考えられるようになることが、これからの学びの確かな土台となります。



— データサイエンス — 仲野 潤一 専任講師

PICK UP 授業!



近年では、これまで想像できなかった量のデータを記録・蓄積することが可能になりました。データサイエンスの講義では、統計学、データ分析、機械学習を駆使して、膨大なデータの中から有益な情報を見出す手法について体系化していきます。伝統的な統計学からはちょっと違ったデータ分析の手法や機械学習の要素技術について、幅広く学んでいきます。また、単回帰分析などの題材を用いて、実際に数学的表現からプログラムコードにしてみることで、理論から実装への落とし込み方についても手を動かしながら理解を深めていきます。

#### 観光まちづくりとは

「観光まちづくり」とは、"地域社会の現状と課題を理解し、地域を主体 とした「観光と交流」を軸にしながら、活力あふれる地域の実現を目指し た活動のこと"です。観光まちづくり学部では、「地域を見つめ、地域を 動かす」をモットーに、新たな観光学のあり方を開拓し、地域に貢献でき る人材を育成します。「地域を見つめる」とは、それぞれの地域が持って いながら地元の人が見過ごしている強みや魅力を外からの視点で掘り 起こし、調査や検証をすることです。「地域を動かす」とは、その魅力を 磨き上げ、地域内外の交流へつながる施策を提案し、そこに住む人た ちと一緒にまちづくりを進めていくことです。

本学科では、学生一人ひとりが、地域に深いまなざしを向け、地域の魅 力を再発見し、地域経済の活性化へとつなげていく「観光まちづくり」 の手法と考え方を学びます。

# 学びの3つの特長

#### 文理融合の幅広い学問領域

歴史や自然環境、都市計画や公共政策、マー ケティングやデータサイエンス、デザインな ど、文系・理系の垣根を越えた多様な科目を 用意しています。地域の課題解決に必要な知 識と技術を総合的に学び、観光まちづくりの 基礎となる分析技術と表現技術を身に付けま す。さらに、学生の希望する進路に合わせて専 門性を高めていく多彩な選択科目を用意して います。



#### ゼミナールと演習で実践力を養う

現場重視の課題解決型の演習として、教員1 人につき学生15人が指導を受ける「ゼミナー ル」と、具体的なテーマや対象地域についてグ ループやスタジオに分かれて共同作業を行う 「観光まちづくり演習」を設定。4年間をかけて 「地域を見つめ、地域を動かす」ための知識・ 技術、思考力・判断力・表現力を、基礎から段 階的に修得し、地域への提案力を身に付け、4 年次の卒業研究へつなげます。



#### 多彩な専門領域を持つ教員陣

地域や文化・情報を対象とする社会学をはじ め、まちづくりのための都市計画や地域計画 学、観光地経営全般の諸課題をめぐる観光学、 公園レクリエーションに関連した造園学、公共 政策学や経済・経営学、地域を対象とした歴 史学、民俗学、文化財学まで、多彩な専門領 域での研究実績を持つ教員が揃っています。 また、実際にまちづくりに携わった経験の豊富 な実務家も指導にあたります。



## 専門教育の流れ

2年 3年 1年 4年

# 導入期

基本的な学習法、地域の見方や 調査法を知る

必修科日 導入ゼミナール

# 基礎期

地域の特性や課題を把握・分析する

選択必修科目 必修科日 基礎ゼミナールA・B 観光まちづくり演習 I

# 発展期

必修科日

地域の構想・提案をつくる

学修の集大成としての卒業研究

必修科目 観光まちづくり演習Ⅱ

観光まちづくり演習Ⅲ 必修科日 必修科目

卒業研究 (4年通年) 専門ゼミナール (3年通年)

メソッド科目 実践を支える調査分析手法やデザイン手法を学ぶ

展開科目	1類	社会	基礎	地域をとりまく社会の構造及び社会意識の実態や課題を学ぶ	発展
	2類	資源	基礎	地域をとりまく歴史・文化、自然など 地域固有の資源のあり方と保全管理を学ぶ	発展
	3類	政策・計画	基礎	地域の空間構造を踏まえた将来像の構想や 働きかけに有効な具体的政策及び計画の在り方を学ぶ	発展
	4類	交流•産業	基礎	地域を主体とした域内外の交流の在り方と その関連産業がもたらす経済効果を学ぶ	発展

トピックス科目 観光まちづくりの実践により近い分野の専門家や実務経験豊富な講師を招き、より実践的な話題に触れる講義

# 卒業後の進路

#### 多様な分野で活躍できる力を修得

観光まちづくり学部 観光まちづくり学科で身に付ける課題解決力や企画力、提案力などの 実践的な能力は、観光関連産業や地域づくりの分野だけにとどまらず、さまざまな分野で 活かすことができます。



#### 公共から地域を支える

# 国家公務員

地方公務員

博物館等の学芸員\*・職員

環境関連組織

\*所定の単位取得により、学芸員の資格を得 ることができます。

# 地域に根差した 事業を担う

観光協会・DMO

**NPO** 

まちづくり組織

Uターン・Iターン起業

DMO = Destination Management / Marketing Organization

#### 観光の専門性を活かす

コンサルタント

宿泊業・旅行業

観光施設運営者

航空 · 鉄道等交通事業者

# 経済活動で 地域と世界をつなぐ

出版 · 放送

広告代理店

商社·金融·IT產業

建設業・不動産業

## 就職に関連して次のような資格を目指すことができます\*

総合旅行業務取扱管理者 国内旅行業務取扱管理者 全国通訳案内士 地域通訳案内士 不動産鑑定士 宅地建物取引士 技術士 他

\*別途資格試験の受験が必要です。

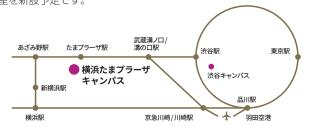
#### キャンパス

# 横浜たまプラーザキャンパス

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川 3-22-1

たまプラーザ駅から徒歩5分、緑豊かで穏やかな空気が満ちる「横浜たま プラーザキャンパス」が学びの場です。

リニューアルしたキャンパスに、観光まちづくり学部独自のスタジオや演 習室を新設予定です。





- ●渋谷駅から東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)でたまプラーザ駅まで約25分。
- ●横浜駅から横浜市営地下鉄ブルーライン終点あざみ野駅で東急田園都市線(水天宮・渋谷方面行き)に乗換え、たまプラーザ駅まで約30分。

# 受験生 WEB サイト

動画コンテンツ配信: 大学の基本情報や入試説明、学部・学 科紹介、模擬授業など、さまざまな内容の動画コンテンツを 用意しています。

**バーチャルキャンパス**: 渋谷キャンパス・横浜たまプラーザ キャンパスのさまざまな施設を360°画像で見ることができ ます。各施設の情報も合わせて紹介しています。



#### 國學院大學の最新情報をSNSからチェックしよう!

大学マスコットキャラクター"こく ぴょん"や、学生の視点から大学の 魅力を伝えるチーム「学生アドバイ ザーJによるSNSのほか、さまざ まな方法で大学情報を発信してい ます。最新情報をお見逃しなく!



LINE ID @kokugakuin



Facebook 「こくぴょん」で検索!



twitter ID 國學院大學公式 @kokugakuin\_univ こくびょん @kokupyon1882